

市民説明会におけるアンケート結果

【ご回答者について】

問1. あなたご自身とご家庭について、お答えください。

ア) 性別

	回答数	回答比率
1. 男性	63	52.5%
2. 女性	56	46.7%
3. 無回答	1	0.8%
計	120	100%

開催回数	5 回
出席者数	122 名
アンケート回答者数	120 名
アンケート回答率	98.4%

イ) 年齢

	回答数	回答比率
1. 20歳未満	1	0.8%
2. 20～29歳	2	1.7%
3. 30～39歳	2	1.7%
4. 40～49歳	4	3.3%
5. 50～59歳	11	9.2%
6. 60～69歳	39	32.5%
7. 70歳以上	60	50.0%
8. 無回答	1	0.8%
計	120	100.0%

ウ) ご家族の人数(ご自身を含めて)

	回答数	回答比率
1. 1人	5	4.2%
2. 2人	48	40.0%
3. 3人	28	23.3%
4. 4人	23	19.2%
5. 5人	10	8.3%
6. 6人以上	6	5.0%
7. 無回答	0	0.0%
計	120	100.0%

エ) お住まいの形態

	回答数	回答比率
1. 戸建住宅	91	76%
2. 集合住宅(アパート・マンション・寮)	24	20%
3. 店舗・事務所との併用住宅	4	3%
4. その他	0	0%
5. 無回答	1	1%
計	120	100%

【市川市のごみ処理の問題について】

問2. 市川市のごみ処理の問題について、あなたが説明会に参加される前から知っていたことをお答えください。(複数回答)

- 1 市内にはごみの最終処分場がなく、市川市クリーンセンターでごみを焼却した後に残った焼却灰は市外へ運ばれて埋め立て処分されていること
- 2 市内で唯一のごみの焼却・破碎処理施設である市川市クリーンセンターは、老朽化が進んでおり、建て替え時期が迫っていること
- 3 燃やすごみとして排出されたものの中に、分別すれば資源化できる可能性があるものが約3割も混入していること

	回答数	回答比率
1	93	77.5%
2	75	62.5%
3	61	50.8%
計	229	

問3. 市川市のごみ処理問題にどの程度関心がありますか。

	回答数	回答比率
1. 大いに関心がある	93	77.5%
2. 少し関心がある	23	19.2%
3. あまり関心がない	1	0.8%
4. まったく関心がない	0	0.0%
5. 無回答	3	2.5%
計	120	100.0%

【ごみの減量・資源化の取り組みについて】

問4. ごみの減量や資源化のために、あなたが実践していることをお答えください。(複数回答)

	回答数	回答比率
1. マイバッグの利用	97	80.8%
2. 過剰な包装を断る	70	58.3%
3. 使い捨て商品は買わない	21	17.5%
4. 食べ残しを減らす	84	70.0%
5. 生ごみの水切り	77	64.2%
6. コンポスト容器の利用	18	15.0%
7. プラスチック製容器包装類の分別	98	81.7%
8. 雑がみの分別	72	60.0%
9. リユースショップ・リサイクルショップの活用	27	22.5%
10. その他	14	11.7%
計	578	

【ごみの排出頻度について】

問5. あなたのご家庭がごみを出す回数(頻度)についてお答えください。

ア) 燃やすごみ

	回答数	回答比率
1. 週3回	54	45.0%
2. 週2回	42	35.0%
3. 週1回	17	14.2%
4. 週1回未満	5	4.2%
5. 無回答	2	1.7%
計	120	100.0%

イ) 燃やさないごみ

	回答数	回答比率
1. 週1回	57	47.5%
2. 2週に1回	15	12.5%
3. 月1回	17	14.2%
4. 月1回未満	29	24.2%
5. 無回答	2	1.7%
計	120	100.0%

ウ) ビン・カン

	回答数	回答比率
1. 週1回	56	46.7%
2. 2週に1回	25	20.8%
3. 月1回	15	12.5%
4. 月1回未満	21	17.5%
5. 無回答	3	2.5%
計	120	100.0%

エ) 紙類・布類

	回答数	回答比率
1. 週1回	41	34.2%
2. 2週に1回	19	15.8%
3. 月1回	23	19.2%
4. 月1回未満	29	24.2%
5. 無回答	8	6.7%
計	120	100.0%

【戸別収集方式について】

問6. 建物ごとにごみを収集する戸別収集方式について、どう思いますか。(複数回答)

	回答数	回答比率
1. ごみを出す場所が近くなるので、ごみ出しが楽になる	41	34.2%
2. ごみの排出ルールが守られるようになる	61	50.8%
3. ごみの減量や分別を心がけるようになる	55	45.8%
4. ごみ集積場所に関する苦情やトラブルが減少する	55	45.8%
5. 自宅の前にごみを置くことが気になる	21	17.5%
6. 自分の出したごみが特定されやすいのでプライバシーが心配である	19	15.8%
7. 今の収集方式のままでも特に問題はない	43	35.8%
8. その他	13	10.8%
計	308	

【ごみ処理手数料の負担について】

問7. ごみを出す量に応じて手数料を負担することになった場合、あなたのご家庭では、ごみの減量についてどのように取り組みますか。

	回答数	回答比率
1. より一層積極的に取り組む	67	55.8%
2. 少しは前向きに取り組む	24	20.0%
3. 取り組みは変わらない	20	16.7%
4. わからない	3	2.5%
5. 無回答	6	5.0%
計	120	100.0%

【3つのプランについて】※自由記載

問8. 市が検討を始めた3つのプラン（家庭ごみの有料化、戸別収集の導入、ごみ収集回数の削減）について、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

（1）家庭ごみの有料化制度について

①手数料

- ごみの手数料についてはなるべく低く設定してください。

②支援策・減免対象

- 生活保護受給者や生活弱者に対しては、ごみ袋を格安で提供又は無料配布にはできないか。

③手数料の用途

- 手数料はクリーンセンターの建て替え費用にしてはどうか。

④家庭ごみ有料化 賛成・反対

- 家庭ごみの有料化は賛成です。分別・受益者負担の意識が高まると思います。(他5件)
- ごみを出す量が多い人がその量によって金額が増えるのはいいと思います。
- 有料化について賛成ですが、環境に負荷をかけない世帯には報いるような方法を考えてほしい。
- 家庭ごみの有料化は負担が大きくなるので反対です。
- 家庭ごみの有料化をする前にもっと研究することがあるのではないか。
- 市民に負担をおしつける方法、有料化ありきの方法ではなく、全体がわかるようにしてほしい。
- 家庭ごみの有料化よりも収集回数を減らす。分別を撤廃すること。

⑤不法投棄等

- 不法投棄が増えるのではないか。(他2件)
- 有料化をすればレジ袋で出す人が増えるのではないか。
- 有料化により、個人で燃やすごみを燃やす人が増加するのでは？

⑥その他

- 手数料の方法は、ごみ袋にシールを張る方法もあります。
- 現在の袋を作成している業者から0.5%でも1%でも徴収したらどうか？
- 事業系ごみの処理料金の適正化も併せて実施してもらいたい。

（2）戸別収集について

①戸別収集 賛成・反対

- 収集日に所定のものとは違うごみを出したり、時間外に出す方がいるので、戸別収集に賛成です。
- 新築住宅は集積所を設置せず・集積所の近くの人しか掃除をしないので戸別収集に賛成です。
- 自分の家に集積所があるとトラブルが多いので、戸別収集に賛成です。

②戸別収集 問題点

- 戸別収集を導入した場合、人件費等のコストが増加するのでは。(他3件)
- 収集時間が遅くなるのではないか。
- 収集の漏れがでるのではないか。
- 道路幅が狭い家では戸別収集ができない。(他2件)
- レジ袋でゴミを出す人が多くなるのではないか。
- 市内は道路が狭いので戸別収集をする前に道路整備が先ではないか。
- カラスや猫の対策はどうすればいいか。
- 衣類の排出に際し、持ち去りが心配である。

③戸別収集 その他

- 戸別収集と現状のままの収集方法を併用するなど柔軟に対応しても良いのではないか。
(他2件)
- 収集は、わたくしの住んでいる地区に共有の集積所があるので導入の必要はありません。

(3) ゴミ収集回数の削減について

- 収集が遅くなるのではないか。
- 収集回数は2回で良いと思います。(他2件)
- 収集回数は今でも少ない。
- 収集回数を削減することで、不法投棄が増えるのではないか。

(4) 3つのプラン全般

- 3つのプランに賛成です。(他4件)
- ごみの削減が市民運動となるように意識を高める方向でお願いします。
- できれば現状が良いが、マナーが悪ければ有料化・戸別収集等の導入も仕方ない。
- 家庭ごみの有料化と戸別収集は賛成。回数削減には反対。
- 3つのプランを立てる前に問題点への解決案があった上でプランを立てるべきではないか。
痛みを伴うプランを立てるのであれば先ずは他に取り組む課題はないのか考えてほしい。
- ごみ有料化は反対。戸別収集はコストがかかりすぎ。収集回数削減になれば家にストックすることになる。3つのプランは市民のためにならず正反対の考えをもっている。
- プランの実施は、先ず収集回数の削減から始めてほしい。
- 3つのプランを導入することで不法投棄が増えるのではないか。
- 3つのプランの収支について、市民に分かりやすいようにしてほしい。

(5) 市民説明・広報周知

- 有料化や収集回数を減らすことをする前に、ごみをどうしたら減量できるか取り組みを市民に周知すべきではないか。200以上ある自治会に短期間で説明会は難しいのではないかな。
- 説明会の参加人数が少ない。あまり関心がないように見受けられます。
- 市民全体に周知されるかが疑問です。

(6) 不適正排出等（ごみ出し等の問題点）

- 外国人が多数居住しているため、ごみ出しルールの徹底が難しいのでは。(他2件)
- ごみの出し方のルールを知らない人が多い。(他2件)
- ごみ袋に名前を書いて出している地域があり良いことでは？(他2件)
- 燃やすごみのごみ袋は小さいサイズ作ってほしい。

(7) その他

- なぜ、市川市は最終処分場がないのか？検討はしないのか。
- 近隣市との情報共有はあるのか。
- 冬は畑の堆肥として利用しています。
- 市はもっとエコについて考えてください。
- シュレッダーをした紙を1か所にまとめ資源化できないか。
- ごみの分別には、教育機関等に積極的に協力依頼をしたらどうか。PTAなどを特に利用してください。
- ごみ袋を購入するようになった時の説明と、今日の説明は違っていると思う。
- 雑がみを減らすことより生ごみのたい肥化を推進すべきだ。